



平成 22 年 1 月 26 日

各 位

会 社 名 塩 野 義 製 薬 株 式 会 社  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 手 代 木 功  
(コード番号 4507 東証・大証第一部)  
間 合 せ 先 広 報 室 長 岸 田 哲 行  
TEL (06) 6202-2161

**抗インフルエンザウイルス剤**  
**「ラピアクタ点滴用バッグ 300mg」および「ラピアクタ点滴用バイアル 150mg」**  
**新発売のお知らせ**

塩野義製薬株式会社（本社：大阪府中央区、代表取締役社長：手代木 功、以下「塩野義製薬」）は、抗インフルエンザウイルス剤「ラピアクタ点滴用バッグ 300mg」および「ラピアクタ点滴用バイアル 150mg」（一般名：ペラミビル水和物）を 1 月 27 日に新発売しますのでお知らせいたします。

ラピアクタは塩野義製薬が米国BioCryst社から導入し、日本国内において開発\*を行い、本年1月13日に世界で初めて製造販売承認を取得した、点滴静注用の抗インフルエンザウイルス剤（ノイラミニダーゼ阻害薬）です。成人における通常のインフルエンザウイルス感染での単回投与、およびハイリスク因子を有する患者での単回投与並びに反復投与で治療効果が認められております。また、すでに小児を対象とした臨床試験が終了しており、年度内に小児用量の追加申請を行う予定です。

\* 第Ⅲ相国際共同試験は、日本、台湾および韓国で実施

本剤は、外来での1回の投与で通常のインフルエンザ症状に対する十分な効果と確実なコンプライアンスが期待でき、また重症例や経口投与が困難な症例にまで幅広く使用できるため、日本におけるインフルエンザの治療に貢献できるものと考えております。また、当社では、ラピアクタの適正使用を推進するため、発売後の一定期間、使用症例の全数を把握し、使用実態ならびに安全性に関する情報の速やかな収集と伝達に努めてまいります。

なお、当社では、新規のインフルエンザウイルス感染症治療薬の必要性が高まっている社会情勢の中、最大限の努力をした結果、今期（2010年3月まで）用として約70万人分の供給量が確保できる見込みです。引き続き次年度におきましても、必要とされる量を円滑に供給するために生産体制の拡充に努めてまいります。

塩野義製薬は、感染症治療薬のトップメーカーとして、細菌感染症やウイルス感染症を中心とする感染症の治療に貢献し続けるために、今後も研究開発活動や販売における情報提供活動に注力してまいります。

## 「ラピアクタ」の製品概要

- ◆ 販売名 ラピアクタ点滴用バッグ 300mg  
ラピアクタ点滴用バイアル 150mg  
(RAPIACTA for Intravenous Drip Infusion)
- ◆ 一般名 ペラミビル水和物 (Peramivir Hydrate)
- ◆ 効能・効果 A型またはB型インフルエンザウイルス感染症
- ◆ 剤型・含量 点滴用バッグ： ペラミビルとして 300mg/袋 (60mL)  
点滴用バイアル： ペラミビルとして 150mg/瓶 (15mL)
- ◆ 用法・用量 通常、成人にはペラミビルとして 300 mgを 15 分以上かけて単回点滴静注する。合併症等により重症化するおそれのある患者には、1日1回 600 mgを 15 分以上かけて単回点滴静注するが、症状に応じて連日反復投与できる。なお、年齢、症状に応じて適宜減量する。
- ◆ 製造販売承認日 平成 22 年 1 月 13 日
- ◆ 薬価基準収載日 平成 22 年 1 月 22 日
- ◆ 薬価 ラピアクタ点滴用バッグ 300mg：1袋 5,792 円  
ラピアクタ点滴用バイアル 150mg：1瓶 3,117 円

### 「ラピアクタ点滴用バッグ 300mg」および「ラピアクタ点滴用バイアル 150mg」



以上

【お問合せ先】

塩野義製薬株式会社 広報室

大阪 TEL：06-6209-7885 FAX：06-6229-9596

東京 TEL：03-3406-8164 FAX：03-3406-8099